

役に立つおもしろい、あなたにプラスな地元情報  
[週刊うえだ プラス・ユー]  
2016 No.64



# Weekly Ueda PLUS

Useful, Unique,  
Ueda and you.



- A面 女性の創業を応援! 大特集
- B・C面 週刊うえだ お住まい専科
- D面 伊藤商会 第7回 大感謝祭

自分のやりたいことが仕事になる創業。  
「でも、本当にうまくいくのかな?」と悩んだら、先輩起業家の経験を聞くのも大切です。  
上田市創業支援プラットフォームが先日開催した  
「女性起業家との交流・対談会」の様子を特集します。



## わたしが創る、わたしのシゴト。女性の創業を応援! 大特集 vol.5

### 世界と自分の「今」を結び 女性起業家との交流会 第4回

グローバル化が加速するこれからの時代、英語を使い、国外とのビジネスに携わる人材はますます必要とされるでしょう。学校でも2020年には小学3年生から英語が必修科目になります。こうした流れをいち早くつかみ、日本の「地方」と「世界」をつなぐビジネスに携わる女性起業家を迎え、9月に行われた第4回の交流・対談会。「女性起業家×架け橋」をテーマに、未来を見据えた熱いトークが交わされました。



女性のためのコワーキングスペース「HanaLab.UNNO」で行われた第4回の交流会。参加者の中には赤ちゃん連れのママも。活発な交流が行われました。

業務改善の手法を身につけ、独立を決めた頃に東日本大震災が発生。震災で仕事を失った被災地の女性の現状を見て、東北の椿油を使った化粧品を開発、販売し、雇用を生み出すビジネスを立ち上げました。「日本の地方が抱える課題も、途上国の課題も、ビジネスが解決できることは多い気がします。自分一人ではなく、いろいろな分野の力を集めてつなげ、成果を出せる仕組みを作りたい」と渡邊さん。お二人の視野の広さ、ビジネスへの姿勢に、参加者も大きな感銘を受けていました。



ゲストご紹介  
渡邊さやかさん(写真左) 一般社団法人re:terra代表  
柳澤由香さん(写真中央) フォトリテーター写真中央 株式会社プチボヤージュ 代表取締役  
大森美和さん(写真右) G-WILL INTERNATIONAL代表

ゲストは小学校の教諭を経てアメリカの大学院へ留学し、海外でのキャリア開発コーディネーターとして活躍する大森美和さんと、発展途上国や日本の過疎が進む地方での社会課題を、ビジネスの力で解決しようと奮闘する渡邊さやかさんのお二人。上田市を拠点に活動している大森さんは、単に英語を学ぶ留学ではなく、スポーツや研究、ビジネスなど「自分のやりたいことを吸収したり、表現するための留学」をコーディネートしているそう。「地方の子どもたちが、当たり前の世界へ目を向けられる環境を作りたいんです。自分が海外で得た人脈や経験で、世界での活躍を目指す人を応援したい」と話してくれました。対する渡邊さんは、学生時代にカンボジアでボランティアをした経験から、国際貢献の分野で働くことを決意。その後、社会人としてビジネスの新規立ち上げや

### 趣味や特技を生かして「先生」になる! 女性起業家との交流会 第5回

自宅を教室にして得意なことを教える「サロネーゼ」。子育てや家事と両立しやすい、時間を有効に使えるなどのメリットがあり、女性の創業のなかでも注目を

オリジナリティーに富んだブーケやフラワーアレンジメントが人気の鳥羽麻里さん、陶器に自在に絵付けのできる技法「ポーセラーツ」に一目惚れして、インストラクターとして活動を始めた武田紗知さんの3人。トークの中では「大変なこともあるけれど、好きなことだから頑張れる」という教室の運営や、生徒さんとの関わり方、家事や育児との両立方法、自宅を教室にするには「家族の理解と掃除が一番大切!」といった具体的なアドバイスも飛び出すなど、会場は大いに盛り上がりました。



上田市中央の「Cafe bosso」で行われた第5回の交流会。サロネーゼを目指す人や、すでに教室を開いている人も、ゲストの経験やノウハウに熱心に耳を傾けていました。



られる分野です。10月初旬に行われた第5回の交流・対談会は、3人のサロネーゼをゲストに迎え、開業までの準備や集客のノウハウなど、実際の経験を聞けるとあって会場は満員。参加者にはすでにサロンを開いている人や、お稽古事で独立を考えている人が多く、熱心に質問が飛び交いました。

今回のゲストは市内の企業や公民館での料理教室でもおなじみのフードコーディネーター・目黒正子さんと、繊細で



ゲストご紹介  
目黒正子さん(写真左端) フードコーディネーター・Natural Kitchen 主宰  
柳澤由香さん(写真左) 株式会社プチボヤージュ 代表取締役  
鳥羽麻里さん(写真右) フラワーアレンジ作家・アトリエRoseMary 主宰  
武田紗知さん(写真右端) ポーセラーツインストラクター・Salon de Sasha 主宰

次号11月26日掲載のプラス・ユーでも、引き続き「女性創業支援事業」について最新情報をお知らせします。どうぞお楽しみに!

## 「わたしの毎日、これでいいのかな?」と思ったら、始めませんか? 「創業」の第一歩!



### 目指せステップアップ

上田市創業支援プラットフォームでは、創業を目指す女性のために、さまざまな支援事業を企画しています。経営の専門家からアドバイスを受ける機会や、起業家同士の人脈づくりまで、一歩を踏み出す女性を丁寧にサポートします。

### 女性創業(希望)者 無料相談スタート!

「創業したいけど、どこに相談すればいいの?」、「こんなアイデアがあるけど、ビジネスになるのかな?」と悩んでいませんか。AREC(浅間リサーチエクステンションセンター)の専属コーディネーターが、創業に関する相談をお受けします(無料、1時間程度)。相談を希望される方は、必要事項[お名前・電話番号・メールアドレス・相談したい内容]を明記の上、右記までご連絡ください。※面談の日時は、ご相談の上決定させていただきます。

### 創業(希望)者アフターフォロー事業

上田市創業支援プラットフォームの「創業スクール」受講者を対象に、中小企業診断士や税理士、先輩起業家が経営上のアドバイスや悩み相談に応じる機会を設けます。

受付期間

11月30日(水)まで

お申し込み先

MAIL sogyo@arecplaza.jp  
FAX 0268-21-4382



女性創業支援事業の専用WEBサイトがオープン!

<http://shinshu-sogyo.com>

イベントやセミナーの最新情報、先輩女性起業家のインタビュー、創業に必要な手順など、役に立つコンテンツ満載!

Facebookページ「上田市創業支援プラットフォーム」もご覧ください。

主催: 上田市創業支援プラットフォーム

共催: 上田市(市民プラザ・ゆう、上田情報ライブラリー) 企画運営: 一般財団法人 浅間リサーチエクステンションセンター(AREC)

お問い合わせ

一般財団法人 浅間リサーチエクステンションセンター(AREC)  
〒386-8567 上田市常田3-15-1 信州大学繊維学部内  
TEL 0268-21-4377・FAX 0268-21-4382

MAIL sogyo@arecplaza.jp

創業支援事務局 担当: 尾島 彩・岡田 基幸